

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成 年 月 日

協議会名: 香取市地域公共交通協議会

評価対象事業名: 香取市地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
千葉交通株式会社	小見川循環バス(西ルート)	利用者の意見聴取や運行状況の分析を行い、利用促進に向けた取り組みを行った。	A	計画通り事業は適切に実施された。	A	計画目標12,300人に対し、実績は12,317人となった	今後も継続して利用状況の分析や住民ニーズの把握を行い、必要に応じダイヤの見直し等を行っていく。 また、引き続き利用促進の取り組みについても実施していく。
株式会社千葉交タクシー	小見川乗合タクシー	利用者の意見聴取や運行业者からの意見等を受け、第17回香取市地域公共交通協議会での協議を行い、平成27年10月より本格運行へ移行することとなった。	A	計画通り事業は適切に実施された。	A	計画目標4,400人に対し、実績は5,359人となった	平成27年10月をもって本格運行に移行することとなったが、今後も引き続き利用状況の分析や住民ニーズの把握を行い、運行内容の見直し・検討を行っていく。 また、引き続き利用促進の取り組みについても実施していく。

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成 年 月 日

協議会名:	香取市地域公共交通協議会
評価対象事業名:	香取市地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>香取市では平成21年2月に策定した地域公共交通総合連携計画に基づき、市内の公共交通不便地域等の解消を図るため小見川循環バスの運行を開始したが、人口の減少、人口密度の低下や高齢者の増加といった社会の変化が進行し、集落が分散している地区や道が狭隘な地区が多い本市では、従来の大型車による路線定期運行のバスでは対応が困難になってきた。そこで、デマンド交通の有用性や持続可能性を検証することなどを目的として、小見川中央・東・南地区において乗合タクシーの試験運行を実施する。</p> <p>小見川西地区においては、同計画に基づき実施した実証運行事業の成果を踏まえ、引き続き持続可能な運行を確保する必要があることから、小見川循環バスを継続して運行し、生活路線としての交通手段を確保することにより、公共交通空白地域を削減・縮小する。</p>